

①業務改善事例	
職場ドック該当事例	
②府民サービス向上事例	○

チーム名	90系統新バス路線チーム
担当者 【所属名】	畑中崇雄・亀谷義忠・馬籠智子・ 福井英奈子【交通政策課】、 小河聡・藤本恭一【道路計画課】

タイトル	乙訓地域と淀地域をつなぐバス路線の開設 ～ 京阪バス、阪急バス共同運行による新バス路線の実現 ～
------	---

アピール ポイント	阪急西山天王山駅の開業と同時に京阪淀駅とJR長岡京駅の3社の鉄道駅を繋ぐ新しいバス路線を共同運行により実現
--------------	---

背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、路線バス、高速バス、車、自転車の各交通モードの利用が可能な新しい形の鉄道駅（阪急西山天王山駅）の開業 ・ 不便な環状方向の公共交通網（桂川を跨ぐ公共交通移動は四条や高槻、大阪市内に移動しなければ乗り継ぎできない） ・ 京阪淀駅とJR長岡京駅間の行き来は公共交通では大変不便 ・ 阪急バスによる新駅開業に伴うバス運行の大幅な減便表明 ・ 沿線自治体、交通事業者、地域住民等と連携し公共交通を検討することで、減便分の補完と新しい路線の実現が可能と考えた。
----	--

改善 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乙訓地域と伏見区淀地域に利便性の高いバス路線を新設 ・ 京阪淀駅と阪急西山天王山駅のみならずJR長岡京駅の3社の鉄道駅を繋ぐことでより利用しやすい状況を整備（利用者目線での路線開設） ・ 運行エリアの競合を避け、阪急バス、京阪バスの共同運行による路線の開設 ・ この路線の利用促進のため、沿線市町、鉄道・バス交通事業者、地域団体と連携し協議会を設置し、利用促進策を展開
----------	---

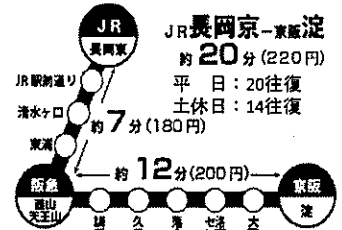
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好調な利用者推移（利用者2万人突破（約50日） 当初予想7人／便の2倍（約14人／便）の実現 ・ 沿線自治体、地域団体、交通事業者が連携して利用促進 自治体の広報誌等を活用することで、経費を抑えてPRを展開 ・ バス事業者単体ではできなかった総合時刻表や公共交通マップを作成、 配布することにより住民への周知 ・ 沿線自治体での公共交通に関する意識の高揚 ・ バス事業者の意識の転換と沿線自治体との連携強化
----	---

今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の声等を把握し、さらなるサービス向上に向けた取組を関係機関と協議 ・ 通勤先や定期券の更新期を見据えPR展開 ・ 沿線に私立中学校、高等学校の9月開校に向け、通学時間帯の運行計画の見直し
-----------	--

乙訓地域と淀地域をつなぐバス路線の開設

～京阪バス、阪急バス共同運行による新バス路線の実現～

- 課題**
- 東西（鉄道）間の公共交通が少なく、四条等から乗り継がなければ対岸へ移動できない
 - 環状方向の移動は車に頼らざるを得ない
 - バス会社にとっては、公共交通利用の需要見込みが立たない

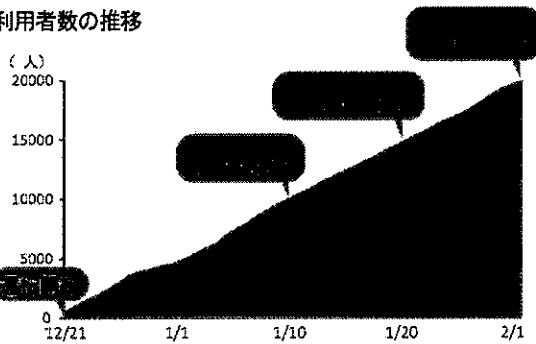


新駅開業に合わせ3つの鉄道駅を結ぶ新路線を計画

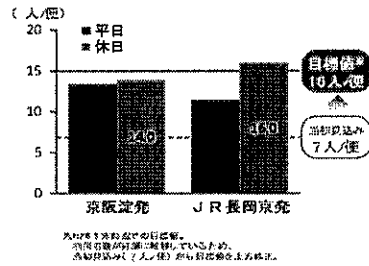
- ・弱い東西間移動の公共交通
- ・優等列車が停車しない3つの鉄道駅
- ・利用者の定着に時間を要する新路線

社会実験実施(3ヶ月) ※60分間隔を朝夕のみ30分間隔に増便

■ 利用者数の推移



■ 1 便当たりの利用者数
102.12.21 ~ 1126.1.31



モビリティ・マネジメントを面的に展開

沿線市町、京都大学、鉄道会社等と連携

